

ホテルで朝食楽しんで

児童養護施設の子招待



パンのバイキングに喜ぶ「白百合の寮」の子どもたち
＝鹿児島市の城山ホテル鹿児島

(同市)に相談。料金の割引に快く応じてもらい、格安で招待できることになった。

7月下旬には、スポーツ大会参加のため奄美市から来ていた「白百合の寮」の13人が招待された。子どもたちは、ホテル特製のパンやたい茶漬け、デザートなどを何度も行き来して食事を楽しんだ。

中村知愛さん(10)は「パンがおいしかった。初めて自分でソフトクリームも作れて楽しかった」。施設職員の池田卓広さん(34)は「ホテルでの振る舞い方や食事マナーを学ばせることができる。いい機会をもらいありがたい」と感謝した。

プロジェクトは現在協力を募っている。1口千円。問い合わせは堂園メディカルクリニック099(254)1864。

(中村直人)

医師堂園さん資金募る

さまざまな事情で児童養護施設などで暮らす子どもたちをホテルの朝食バイキングに招待する「微笑みバイキング・プロジェクト」を、堂園メディカルハウス(鹿児島市)の堂園晴彦院長が始めた。招待のための資金を募っており、堂園院長は「子どもたちの貴重な経験になるので協力してほしい」と話している。

県内で養護施設に入所している子どもは約800人。「好きなものを好きなだけ食べた」という子どもたちの夢をかなえてあげたい」と考えた堂園院長が、城山ホテル鹿児島